

【 庁 議 記 録 】

- 1 日 時 令和8年5月26日（火）午前8時51分～午前9時44分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 市長 副市長 教育長 企画財政部長 総務部長
市民部長 地域文化スポーツ部長 福祉保健部長 子ども家庭部長
環境部長 都市建設部長 議会事務局長 教育部長
幹 事 政策室長
- 4 欠席者
- 5 会議結果

市 長 これより庁議を開催します。審議事項2「行政経営会議(サマーレビュー)の導入について」の説明をお願いします。

部 長 本会議導入の意義としては、次の3点です。

1点目は、中長期的な視点での行政経営です。後期基本計画と個別計画の施策目標等の達成状況や進捗を管理し、次年度予算に向けて検討することは、例年行っていますが、その中間となる時期に政策的な新規、拡充事業等の方向性を確認することで、より具体化した次年度予算編成となることや、中長期的な視点で判断ができ、持続可能な行政経営となることを目指します。

2点目は、PDCAサイクルを一層効率よく実施するためのもので、施策目標等の達成状況や進捗を管理し、評価した上で次年度の予算編成に繋がります。具体的には、これまで個別に行っていた行革計画・基本計画推進プランの進捗管理、内部評価を一体で実施し、決算資料と連携させます。

3点目は、各部の事務負担の平準化及び軽減として、2点目で示した効率化による事務負担軽減に加え、例年、次年度の予算編成に合わせ、11月中旬に政策調整会議を実施していますが、サマーレビューを8月に行い、重点施策等の方向性を確認した上で予算要求業務に繋げ、資料作成の負担軽減、10月実施の予算ヒアリング及び11月の政策調整会議の時間短縮を図ります。

2、3ページを御覧ください。本会議に当たっては、本様式のみでの資料提出を想定しています。新規や拡充事業は調書①、前年度政策調整会議からの継続事項等は、企画財政部が整理した確認事項を調書②でお示しし、回答いただくもので、細かい事業費や根拠資料を求めるものではありません。

4ページを御覧ください。こちらは、現在想定しているスケジュールです。

繰り返しとなりますが、本会議導入の目的は、市が掲げる重点施策の進捗管理を適切に行い、その可否や方向性を早期に整理することで、予算編成全

体の事務負担軽減及び平準化を図りたいと考えています。

市 長 本件について、質問等ありますか。

副市長 様式や調書が、どうしても分野別が主となっています。基本構想でのまちづくりの視点として、「狛江らしさ」と「ともに創る」が分野別の横串を通すようになっています。こうした視点での議論も必要だと思います。その点も含めて制度設計の整理をお願いします。

部 長 補足です。調書1及び2について、6月上旬に各課へ依頼し、7月下旬の提出を予定しているため、各部で事前周知をお願いします。

市 長 私が企画経営室長時代にサマーレビューを導入しました。しかし、サマーレビューは夏休み期間中に作業を行うため、その後簡素化を行わないと負担になることもあるので、準備を整えて平準化できるようにしてください。

他に特に意見等なければ、案のとおり決定します。続いて、審議事項3「狛江市地域防災計画（火山編）（素案）に対するパブリックコメント及び市民説明会の実施結果について」の説明をお願いします。

部 長 狛江市地域防災計画（火山編）（素案）のパブリックコメントを4月15日から5月14日まで、市民説明会を4月22日及び25日に実施し、併せて6件の意見、質問をいただきました。内容及び回答については資料のとおりです。6件中、3件は肯定的な意見であり、特に防災カレッジの内容及、防災カレッジを市民説明会と同時開催したことに対して評価が高かったです。残り3件の質問についても、計画の修正が必要な内容ではありません。また、4つ目の質問では、計画の具体化や、内容を市民に分かりやすく伝えることの必要性について改めて認識しました。6月18日開催の防災会議に諮る予定です。

内容について意見があれば、5月28日までに危機管理監又は安心安全課へお願いします。

市 長 本件について、質問等ありますか。

副市長 組織改正の対応はどうするのでしょうか。

部 長 今回、修正します。

市 長 他に意見等なければ、次回の庁議において継続審議とします。

続いて、審議事項4「狛江市地域防災計画の修正について」の説明をお願いします。

部 長 狛江市地域防災計画として、震災編、風水害編、火山編と整備してきましたが、令和7年11月の大分市佐賀関の大規模火災に見られるように、住宅密集地という本市の特性を考慮すると、大規模火災対策についても計画が必要だと認識しています。また、現行計画の中で、その内容及、災害対策本部及び災害対策本部設置前の態勢、避難所の定義等、再整理が必要な部分もあり、理解が容易で使用しやすい計画とするため、令和8年度中に修正を図る

ものです。

資料4-1の2 見直しの方向性を御覧ください。

1点目は、各計画の一本化です。現行計画は、各計画が独立しているものの、風水害編や火山編には「震災編を準用する。」という記述が多く、震災編と見比べる必要があり、計画単体として活用しづらいことへの見直しです。

2点目は、新たに大規模火災や放射性物質飛来時の対応等を定めた「大規模事故等編」の追加です。震災時にも出火することがありますが、大規模火災は平時においても可能性があり、むしろ数十年に一度の震災よりも発生の可能性が高い平時の火災対策として、震災編の一部としてではなく、別に策定したいと考えています。

3点目は、記述内容について、真に市の対策に必要な事項を精査し、コンパクト化です。

4点目は、震災時、風水害時の市の態勢の再検討です。

資料4-2を御覧ください。現行の震災編では、発生した地震の震度は同じでも、勤務時間内と休日・夜間で災害対策本部の態勢が異なっています。本来、態勢は生じた事態の規模、被害内容等で決定されるものであり、勤務時間内外で区別するものではないため、区分をなくして統一します。

風水害時における災害対策本部設置前の警戒態勢中の細部態勢については、対象災害が災害対策本部を設置して対応するほか、東京都の態勢に合わせて災害即応体制本部を設置することになっていますが、都と市では職員数や対策の量、内容の規模が異なることから、都の態勢をそのまま準用するのではなく、対策の内容、量等を具体的に判断し、市の実情に合わせて再整理したいと考えています。

最後にその他として、風水害時の避難所の定義や災害時の物資を受け入れる地域内輸送拠点について、再整理、再検討します。

資料4-2の3、4ページを御覧ください。現行の風水害編では、災害発生前のいわゆる自主避難所と災害発生後の避難所の区別がされていません。発災後の避難所は、震災、風水害にかかわらず、指定避難所として開設・運営されるものであり、台風接近時等に開設することがあり、自主避難所とは明確に区分する必要があるため、再整理し、周知します。

また、災害時の物資受入拠点である地域内輸送拠点については、現行計画では市民総合体育館を指定していますが、ここにはトラック等を駐車し荷物を卸下・積載できる大きな駐車場や搬入口がないことや、施設の形状等から、物資の搬出入にかなりの人員が必要なため、地域内輸送拠点の場所、要領についても再検討したいと考えています。これらについて令和8年度中に修正し、令和9年度以降に計画の実動検証等を実施し、実行性をより高めていき

たいと考えています。

地域防災計画修正の必要性については以上のとおりですが、細部修正内容、要領については修正作業の中で各部等と調整しながら進めていきます。特に災害対策本部や風水害時の態勢については、実動する部署に混乱がなく、対策を講じる際に漏れがないよう検討するので、御理解をお願いします。

本件について意見がある場合は、5月28日までに危機管理監または安心安全課へお願いします。

市長 本件について、質問等ありますか。

副市長 確かに、様々な視点で見直すことは必要ですが、例えば、令和7年度に多摩川の治水計画が見直されたり、国土交通省では主要道路の啓開計画が策定されており、それらを考慮すると、この計画の見直しは朝令暮改になるように思います。一方で、組織改正によるBCPの見直しや、受援計画の策定等、必要な事項の整理は先送りになっています。実行性の確保という説明もありましたが、個別計画も含め、全体の優先順位の整理がまずは必要です。

部長 全体の優先順位を考えて整理します。

市長 有事に参照できるように分かりやすさも考慮してください。

他に意見等なければ、次回の庁議において継続審議とします。

その他ありますか。

部長 令和8年度狛江市総合水防訓練の実施結果についてです。

5月24日に、令和元年東日本台風と同程度の台風の接近に伴う対応を想定して、狛江第三小学校、和泉小学校、上和泉地域センター及び狛江第四中学校の4箇所避難所を開設し、一般市民を受け入れるとともに福祉避難所開設訓練を実施しました。小雨の影響から、一部会場で内容を変更しましたが、訓練開始前に雨が上がり、一連の訓練に際し、一般参加者が約770人、市職員をはじめ、避難所運営協議会の皆様、各小中学校の先生方、その他関係機関を合わせて約1,100人に参加いただきました。当日は、子ども連れで賑わう姿が各会場で見られたほか、外国の方も参加されており、市や関係機関、避難所運営協議会における防災の取組を広く啓発するという訓練の狙いを充足できました。

また、新たな試みとして、狛江第三小学校で防災カプセルトイを実施しました。防災にまつわるクイズに答えるとガチャガチャを回すことができ、子ども向けの防災グッズ等が当たるもので、大変好評でした。防災カプセルトイは、今後も訓練等の機会を活用して啓発に取り組みます。

避難所開設、運営訓練では、4箇所のうち2箇所で多摩川氾濫時の浸水想定高以上の3階を避難スペースとして、一般市民の受け入れ訓練を実施しました。訓練の中で、一般参加者や避難所運営協議会の方から、避難の動線や

受付票、問診票等の見方の工夫等に関する意見をいただきました。

また、狛江第四中学校でQRコードを活用した受付を試行し、手続きが簡単であることや、受付で並ばなくてよい等、好評な声をいただきました。QRコードによる受付については、現在多摩26市の防災担当職員で構成する避難者情報共有検討会において、26市共通で広域的に使用する受付票の様式作成や、実運用に向けた検討を行っており、訓練で出たメリットや課題等を今後の協議会で報告するほか、次回の防災訓練での活用を考えていきます。

その他、各会場では、関係機関による展示のほか、市が備蓄している携帯トイレやエアーマット等を実際に体感して避難所生活をイメージする等、防災に関する普及啓発を図りました。

一連の訓練に際して、職員をはじめ、避難所運営協議会、小中学校教職員、上和泉地域センター、その他関係機関の皆様の協力に御礼申し上げます。

さらに西河原公民館において福祉避難所を開設し、市内グループホームをはじめとする地域の障がいのある方々や支援者に参加していただき、避難の際に配慮が必要な方への対応要領等を確認しました。

社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を福祉避難所の開設訓練と連動して行い、KINTONE災害ボランティア運営支援システムを活用し、ボランティア募集やニーズ受付から活動報告までの全体の流れを確認しました。加えて、狛江市消防団による浸水を想定した排水ポンプ車の運用要領の訓練、下水道課職員による猪方の樋管操作の実働訓練及び調布市との情報連絡訓練を実施することで、より実践的な訓練になりました。今後、出水期を迎えるに当たり、今回の訓練で抽出した課題等を整理し、風水害に対する対応能力をさらに高めていきたいと考えています。

市長 イベント的要素もあり、親子連れが多かったです。子どもたちも防災意識が高まったと思います。職員、地域の方々、関係機関の皆様には御礼申し上げます。

他にありますか。

部長 東京都市町村民交通災害共済事業（ちょこっと共済事業）の廃止に向けた各市町村の対応状況についてです。

交通災害共済は、東京都内全市町村の住民が会費を出し合い、交通事故遭遇時に見舞金を受け取れる助け合い制度です。民間傷害保険サービスの台頭により、自治体が運営する保険の役割が相対的に低下したことで、財政収支が厳しくなっていました。このため、東京市町村総合事務組合において、募集最終年度を令和9年度とする手続きが進められており、市長会・町村会に報告されました。

当市の交通災害共済の加入者は、3月末現在7,632名です。このうち一般

加入者が1,425名、消防団員、市内在住の小中学生が6,207名となります。

今後、10月の総合事務組合において事業廃止に伴う代替事業の説明会が予定されています。総務部及び教育部にも関連するため、加入者等への情報周知等、両部とも連携を図りながら対応します。

市長 他にありますか。

部長 狛江駅南口発着の小田急バスのダイヤ減便についてです。

バスの減便について、小田急バスから連絡ありました。狛江駅南口ロータリー発着の狛12系統宇奈根行バスについて、6月1日のダイヤ改正に伴い、午後8時55分宇奈根発狛江駅南口行の最終バス復路1便を減便し、狛江営業所から新たに登戸営業所に転属させるとのことです。

市長 コミュニティバスも含めて、市民の足の確保について議論が必要です。

次に、審議事項1「令和8年狛江市議会第2回定例会一般質問対応について」、17番山田幸子議員です。

部長 「1 『人にやさしいまちづくり』について」は、子育てしやすいまちづくりに関する質問があります。

部長 「2 子どもの健やかな成長と健康支援について」は、5歳児健康診査に関する質問があります。

部長 また、熱中症対策に関する質問があります。

市長 次に、15番小野寺克己議員です。

部長 「1 『人にやさしいまちづくり』について」は、快適に暮らせる魅力あるまちづくりに関する質問があります。

部長 「2 マンションの建物の老朽化と住民の高齢化の課題について」は、現状認識と情報把握に関する質問があります。

市長 次に、16番石川和広議員です。

部長 「1 『人にやさしいまちづくり』について」は、健やかに暮らせるまちづくりに関する質問があります。

部長 また、市民が活躍するまちづくりに関する質問があります。

部長 「2 未来戦略と魅力のまちづくり」は、財政の見える化に関する質問があります。

市長 次に、18番佐々木貴史議員です。

部長 「1 『人にやさしいまちづくり』について」は、安心して安全なまちづくりに関する質問があります。

部長 また、これからの市政運営に関する質問があります。

部長 「2 市民要望の実現に向けて」は、認知症予防に関する質問があります。

市長 次に、5番きたみまさし議員です。

部長 「1 文化財の保存と持続可能な収蔵体制について」は、文化財保管施設

の位置付けに関する質問があります。

部長 「2 地域イベントにおける緊急連絡体制及び部活動地域移行に伴う情報連絡基盤について」は、緊急連絡体制の実態に関する質問があります。

部長 「3 進化する生成AIを活用するために行政が市民に対してできること」は、生成AIの教育現場での取組状況に関する質問があります。

市長 次に、6番三宅まこと議員です。

部長 「1 狛江は、まちづくりからひとづくりへのフェーズへ」は、狛江まちみらいラボに関する質問があります。

部長 「2 中学校部活動地域移行後の『生徒移動』に関する検証」は、移行前、移行後における遠征、移動に係る運用に関する質問があります。

部長 「3 高齢者福祉向上施策の提案」は、高齢者団体の持続可能性をサポートしていく体制作りに関する質問があります。

市長 次に、2番高木さところ議員です。

部長 「1 子育てを支える諸課題」は、子育て中の働く親を一人残らず支える子どもの放課後の安心策に関する質問があります。

部長 「2 狛江駅南口開発について」は、狛江駅周辺まちづくり方針（案）に関する質問があります。

市長 次に、3番しの浩司議員です。

部長 「1 市民農園について」は、管理・運営に関する質問があります。

部長 「2 安心安全について」は、学校における校外活動に関する質問があります。

市長 次に、4番吉野芳子議員です。

部長 「1 狛江市発の地域共生社会をめざして」は、障がいのある人の外出支援に関する質問があります。

部長 「2 市民生活の向上を図るために」は、ごみ箱にまつわる課題に関する質問があります。

市長 次に、1番ひらい里美議員です。

部長 「1 当事者である女性の尊厳を守る包括的支援体制の構築に向けて」は、新法に基づく「支援調整会議」の必要性と官民連携に関する質問があります。

部長 「2 公民館の現状と役割について、市民の学びと権利を支えるプラットフォームとして」は、利用者ニーズの把握と課題に関する質問があります。

市長 次に、22番石井功議員です。

部長 「1 松原市政について」は、松原市政の実績に関する質問があります。

市長 次に、9番山田みちこ議員です。

部長 「1 子育てしやすいまちづくり」は、小1の壁に関する質問があります。また、駒井公園に関する質問があります。

市長 次に、10番太田久美子議員です。

部長 「1 健やかに暮らせるまちづくり」は、新型コロナウイルス感染症対策で高い接種率を達成できた要因に関する質問があります。

部長 「2 子育てしやすいまちづくり」は、高校生までの医療費無償化に関する質問があります。

市長 次に、19番辻村ともこ議員です。

部長 「1 生涯健康づくりについて」は、健康習慣の定着や効果的な取組に関する質問があります。

部長 「2 安定した資源物回収と市民意識向上に向けて」は、資源ごみ回収に関する質問があります。

部長 「3 緊急医療救護所の課題と今後について」は、現状と課題に関する質問があります。

市長 次に、21番栗山欽行議員です。

部長 「1 地球にやさしい快適なまちづくりについて」は、ゼロカーボンシティの実現に関する質問があります。

市長 次に、8番小木哲朗議員です。

部長 「1 教育の充実について」は、中学受験熱の受け止めと今後の見通しに関する質問があります。

部長 「2 狛江の未来に向けたまちづくり」は、狛江駅周辺まちづくり方針(案)に関する質問があります。

市長 次に、11番荒木てつ議員です。

部長 「1 狛江市の緑と生物多様性について」は、生きもの調査に関する質問があります。

部長 「2 教育環境の充実について」は、不登校児童・生徒への支援に関する質問があります。

市長 次に、12番岡村しん議員です。

部長 「1 市長の政治姿勢について」は、財政運営に関する質問があります。

部長 また、市民参加と協働に関する質問があります。

部長 「2 子育て環境の充実について」は、学童クラブ待機児に関する質問があります。

部長 「3 狛江市の諸課題について」は、狛江駅南口再開発に関する質問があります。

部長 また、防災施策の充実に関する質問があります。

市長 次に、13番宮坂良子議員です。

部長 「1 低所得者、高齢者の暮らし、いのちと健康を守るために」は、低所得者、高齢者の実態に関する質問があります。

部 長 「2 市民のための公民館・地域センターに」は、団体登録・施設予約システムに関する質問があります。

市 長 次に、14番西村あつ子議員です。

部 長 「1 市民生活支援について」は、物価高騰の影響に関する質問があります。

部 長 「2 子ども・若者支援の充実について」は、修学旅行への支援に関する質問があります。

部 長 また、大学生世代への新たな支援に関する質問があります。

市 長 他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、6月3日午前9時00分から開催します。